



神奈川県

KANAGAWA

かながわ

こども  
まんなか  
プロジェクト

#こどもまんなかやってみた

かながわこどもまんなかアクション事例集2024

# かながわこどもまんなかアクション事例集2024 ～ 目次 ～

## ①居場所づくり・こども食堂

- [NPO法人WooMoo](#)
- [株式会社ファンケル](#)
- [NPO法人I Love つづき](#)
- [横浜マリノス株式会社/一般社団法人](#)
- [F・マリノススポーツクラブ](#)
- [NPO法人 湘南ベルマーレスポーツクラブ](#)
- [コナミスポーツ株式会社](#)

## ②共生社会（インクルーシブ社会）

- [株式会社湘南ベルマーレ/一般社団法人 INCLUSIVE HUB SHONAN](#)
- [NPO法人発達サポートネット バオバブの樹](#)

## ③こども・子育て応援

- [NPO法人WooMoo](#)
- [GUGEN Software株式会社](#)
- [小田急電鉄株式会社](#)
- [京浜急行電鉄株式会社](#)
- [東急電鉄株式会社](#)
- [東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社](#)

## ④こども・若者主体のアクション

- [株式会社Coanna](#)
- [NPO法人あおば学校支援ネットワーク](#)

## ⑤体験型等こどもの育ち応援

- [NPO法人あおば学校支援ネットワーク](#)
- [三菱ケミカル株式会社](#)
- [NPO法人HpRun](#)
- [株式会社Jバイオフードリサイクル](#)
- [株式会社横浜エクセレンス](#)
- [フィード・ワン株式会社](#)
- [味の素株式会社 川崎事業所](#)
- [相鉄グループ](#)

## ⑥共働き・子育て

- [三菱ケミカル株式会社](#)



# 居場所づくり・子ども食堂

## <子どもまんなかアクションの名前>

子どもの居場所Tsubame

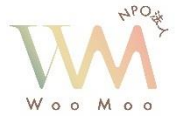


<企業・団体名> NPO法人WooMoo



## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人WooMoo（うーも）は、横浜市南区で『うむまえ、うむとき、うんだあと。』をモットーに産まれる前から産んだあとまでの子どもや保護者への伴走支援に取り組んでいる団体です。



## どんなアクションをしているの？

学校に行けない子、自分のペースでゆっくり勉強したい子…など理由は様々ですが、学校でもなく、家でもない、子どもたちが安心して過ごせる居場所「Tsubame」を運営しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

産まれる前から産んだあとまでの継続した支援活動を行う中で、特に学齢期以降の子どもたちへの手厚い支援や保護者支援の必要性を感じていました。地域の子子どもたちの中に不登校に悩んでいる子が多かったことから、子どもの居場所事業に取り組み始めました。

## 子どもや保護者からの反応はどうか？

子どもが学校へ行き渋り、鬱と診断され悩んでいたところにTsubameに出会い、Tsubameに通う中で、暗い様子からだんだんと表情が変わり、友達ができ、自分が自分でいられる場所になり、5ヵ月後には徐々に学校に行けるようになったと保護者の方から喜ばれています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

当初は近隣地域の子子どもたちが利用することを想定していましたが、常設で開所している居場所が少ないこともあり、横浜市内のあらゆる地域からの利用があります。課題を抱える子どもと保護者の安心した居場所になっていると感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市南区三春台126

(ウェブサイト)  
<https://www.npo-woomoo.com>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.npo-woomoo.com/ibasyo>

# 居場所づくり・子ども食堂

## <子どもまんなかアクションの名前>

製品を活用した、子ども食堂での食育活動

<企業・団体名> 株式会社ファンケル

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社ファンケルは、横浜市中区で化粧品・健康食品の研究開発、製造及び販売を行っている企業です。



#子どもまんなか  
やってみた

なにげない感動をずっと。

FANCL

## どんなアクションをしているの？

自社製品の発芽玄米やケールを活用した食育講座を、地域の子ども食堂で実施しています。

基本の栄養素や発芽玄米、ケールの栄養を楽しくクイズ形式で学び、その後、美味しく食べることで理解を深めています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

「かながわSDGsパートナー」への参画をきっかけに、横浜市内の子ども食堂を運営するNPOと出会い、子どもの食育や基本栄養の大切さ等を意見交換し、食育講座の実現につながりました。神奈川県での取組をきっかけに、他県での開催や他の企業との共同開催などが広がっています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

「青汁は苦い、まずいというイメージがあったけど、リンゴジュースと一緒に飲むとすごく美味しくなった。野菜は苦手だけど、青汁は飲めたので良かった。」といった子どもからの声や、参加した保護者の方からも、「一緒に学べて有意義だった」といった声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

従業員向けに県内の子どもを取り巻く状況や子ども食堂について理解を深めるための研修を実施しました。

参加者からは、地域の子ども食堂への参加やボランティアとしての関わりなど、個人としても地域貢献できる取組への参画意識がとても高まりました。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市中区山下町89-1

(ウェブサイト)  
<https://www.fancl.jp/index.html>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.fancl.co.jp/clip/sdgs/2307-02/index.html>

# 居場所づくり・こども食堂

## <こどもまんなかアクションの名前>

ジュニアカフェつづき

<企業・団体名> NPO法人 I Love つづき

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人 I Love つづきは、横浜市都筑区で、もっとステキなまちになるための「まちづくり」を行い、コミュニティカフェ「シェアリーカフェ」を拠点に、様々な講座やワークショップを実施する団体です。



#こどもまんなか  
やってみたい



## どんなアクションをしているの？

中川駅前商業地区振興会の協力を得て、シェアリーカフェを「こどもの居場所～ジュニアカフェつづき～」として開放し、オンライン学習教材を活用した子どもの学習支援等を県と連携して実施しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

I Love つづきでは、環境・防災・子育て・福祉・経済・地域振興など多様なテーマの方々とコミュニティを形成し、他の団体との連携して子どもを対象にしたイベントを実施しています。地域の居場所となるシェアリーカフェを子ども向けに開放することで、子どもへの支援をより強化したいと考えています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

参加している子どもたちからは、「おしゃべりやみんなで食べるのが楽しい」と言っていたり、保護者の方からは「とても気に入っているようです」「楽しかったと言っています」という声をいただいています。

子どもたちが安心して楽しい時間を過ごすのが一番と考え、運営しています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

今の場所にコミュニティカフェを運営し始めてから、4年目になりますが、初めて訪れた、こういう場所があったんですね、と言われ、近隣の方に知ってもらうきっかけにもなりました。商店街もチラシを置いてくれたり、看板に掲示してくれたり、この取組を応援してくれ、より連携を深めています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市都筑区中川1-17-22-402

(ウェブサイト)  
<https://webyoko.com/ilt/>

# 居場所づくり・子ども食堂

<子どもまんなかアクションの名前> 子どもスポーツDAY With F・マリノス

<企業・団体名> 横浜マリノス株式会社  
一般社団法人F・マリノススポーツクラブ



#子どもまんなか  
やってみた

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

一般社団法人F・マリノススポーツクラブは、横浜・横須賀・大和をホームタウンとして、あらゆる人がスポーツで「夢」を追うことができる、あらゆる人がスポーツで「幸せ」になれる地域社会を目指して活動する団体です。



## どんなアクションをしているの？

子どもたちが長期休暇(夏休み・冬休み)中に安心して過ごすことができる「居場所」を創出し、多くの仲間と共に楽しくスポーツ(サッカー)等を体験してもらうイベントを県と大和市と連携して取り組んでいます。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

最近は両親が共働きで子どもだけ留守番をしているという家庭も増えています。そこで、県や大和市と連携して、夏休みなど長期休暇中の子どもたちが留守番をしている時間に、友達と触れ合ったり、運動をする機会を作っています。

## 子どもや保護者からの反応はどうか？

普段サッカーをしていない子どもたちが、「空調の効いた体育館で思い切り体を動かせた」と言ってくれました。特に女の子たちが非常に運動を楽しんでいて、サッカーを好きになってくれたこと、また保護者の方から「もっとこういった機会を増やしてほしい」と言ってくれたことが非常に嬉しかったです。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

子どもたちの体力低下と、運動能力が二極化していると言われています。スポーツを文化として取り入れ、さらに高齢化の進む社会を迎えていくに当たって、子どもたちに限らず誰もが体を動かせる場所を増やしていきたいと考えています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市港北区新横浜2-6-3

(ウェブサイト)  
<https://www.f-marinos-sportsclub.com/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.f-marinos-sportsclub.com/news/8047/>

# 居場所づくり・こども食堂

## <こどもまんなかアクションの名前>

夏休みにあつまーれ！

<企業・団体名> NPO法人 湘南ベルマーレスポーツクラブ



## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブは、平塚市を拠点に総合型地域スポーツクラブとして、様々なスポーツの普及活動、施設の管理運営など幅広く展開し、地域の方々がスポーツを楽しんだり、健康に過ごしたりできるような活動を行う団体です。



## どんなアクションをしているの？

夏休み期間中の「こどもの居場所づくり」として、県・平塚市・藤沢市と連携し、子どもたちが午前中に3時間程度を過ごせるプログラムを実施しました。スポーツだけでなく、学びや食事の時間も設け、子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう工夫しました。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

子どもたちが安心・安全にスポーツや運動、外遊びができる環境が少なくなってきているので、そういった環境を増やしていきたいと考えています。ベルマーレがハブになっていろいろな切り口で地域の方々と連携して活動を広げていければと考えています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

「楽しかった、また行きたい」といった声をたくさんいただきました。その中で「不安で行きたくないと言っていた息子が帰ってくると『楽しかった』とその日のことをたくさん話してくれました」といったコメントもいただき、子どもたちも楽しく過ごせたことをより実感しました。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

子どもはもちろん、保護者の方にとっても、この取組が意義のあるものであると手ごたえを感じました。

集まれる「居場所」を提供することで、子どもならではの柔軟性で、出会った子とすぐに友達になっていたということもありました。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
平塚市中堂18-8 E棟3F

(ウェブサイト)  
<https://www.bellmare.or.jp/>

# 居場所づくり・子ども食堂

## <子どもまんなかアクションの名前>

コナミスポーツクラブでチャレンジしよう！

<企業・団体名> コナミスポーツ株式会社



## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

コナミスポーツ株式会社は、総合型地域スポーツクラブとして、神奈川県内の14店舗で子どもや大人のフィットネスや、各種運動スクールの運営のほか、スポーツや運動のサポートを行う企業です。



## どんなアクションをしているの？

地域に展開するスポーツクラブとして、地域の子どものための「放課後の居場所づくり」を県と連携して実施しています。学校の宿題に取り組み、その後、思う存分体を動かす、普段できないスポーツに取り組む場の提供を行っています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

外で遊ぶ場所がなかなか無いと聞きますし、スポーツクラブのインストラクターを行う中で、子どもの運動能力の低下も感じています。また、子どもに指導する中でも、会話の中で「うんうん」しか返事が返ってこないこともあり、大人と接する機会が減っていると感じています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

「普段、そんなにスポーツが好きではないですが、またやりたいと楽しんでいました。」「家の近くにこういった施設があって安心して子どもを行かせることができ、引っ越してきてよかった。」といったお声を保護者の方からいただきました。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

参加した保護者の方からのアンケートでは、当社へのイメージが参加前よりも変わったという回答が約67%ありました。今回の取組を通じて、地域の方と子どもの福祉や教育に関心を持つ機会が増え、施設の認知度も向上しました。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
東京都品川区東品川4-10-1

(ウェブサイト)  
<https://www.konami.com/sportsclub/corporate/ja/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.konami.com/sportsclub/corporate/topics/2024/09/30/>



～かながわ子どもまんなかアクション事例～

こども  
まんなか

# 共生社会(インクルーシブ社会)

<子どもまんなかアクションの名前> みんなの「たのしめてるか。」

<企業・団体名> 株式会社湘南ベルマーレ  
一般社団法人INCLUSIVE HUB SHONAN



## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社湘南ベルマーレと一般社団法人INCLUSIVE HUB SHONANは、プロサッカーチームの湘南ベルマーレを旗振り役とし、共生社会実現のため様々な社会課題にチャレンジしている団体です。



## どんなアクションをしているの？

共生社会の実現を目指し、障がいの有無に関係なく老若男女誰でも参加でき、イベントを通してみんなの「たのしめてるか。」を発見するきっかけづくりとなるようなイベントを、平塚市内の特別支援学校等と連携して開催しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

湘南ベルマーレのクラブミッション「夢づくり、人づくり」と、チームのスローガン「たのしめてるか。」を掲げ、地域の小学校への巡回授業や地域活動を実施していましたが、平塚市内にある4つの特別支援学校と地域をつなぐためのハブを目指し活動を実施しています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

特別支援学校の子どもたちが、地域の子どもとふれあい、子ども自身が壁を作ることなく楽しめるイベントだと感じています。子どもたちがお互いを理解し、どう接するといったかを自ら考え、イベントが終わるころにはとても満足した顔になっているのがとても印象的です。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

湘南ベルマーレの持つ様々なステークホルダーと地域をつなぐハブ機能をINCLUSIVE HUB SHONANが持つことで、地域の困りごと・課題を一緒に解決できる環境が整い始めています。地域と共に進めることで、みんなの「たのしめてるか。」を実現していきたいです。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
平塚市中堂18-8 E棟3階

(ウェブサイト)  
<https://www.bellmare.co.jp/>

# 共生社会(インクルーシブ社会)

## <こどもまんなかアクションの名前>

発達性ディスレクシアを正しく知ってほしい

<企業・団体名> NPO法人発達サポートネット バオバブの樹

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です



NPO法人発達サポートネット バオバブの樹は、発達障がい、中でも特に発達性ディスレクシア（発達性読み書き障がい）への理解とより深い認識を持ってもらうための個別相談や勉強会等を行っている団体です。



## どんなアクションをしているの？

発達性ディスレクシアに対する社会的な認知や理解は、現状ほとんど進んでいません。当事者への支援を行うと同時に、当事者の声を通して読み書きの困難さが、学習だけでなく日常生活にも大きな影響を及ぼすことを知ってもらうための講演会等を実施しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

読み書きの苦手さのある発達性ディスレクシアの子どもと出会う中で、苦手なことが発達過程にあるものだとの認識がされず、当事者の声も聞かないまま読み書きを強いられる現状に疑問を持ちました。当事者が自らの経験を自分の声を通して伝えることが大切だと考えたことから活動が始まりました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

読み書きが苦手なことに対して、子ども自身が「自分はダメな子」と思い込んでいることが多いですが、客観的評価に基づく事実を伝えることで、自分自身への理解を深め、自分のやりやすい方を選んで、学びへの理解と意欲を取り戻しています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

地道な啓発活動を続けてきたこと、時代の変化で社会の価値観が少しずつ変わってきたことで、「読めない書けない＝努力が足りない」という思い込みが誤りだと気づく人も増えてきています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
茅ヶ崎市共恵1-8-18神崎ビル  
301

(ウェブサイト)  
<https://baobab-chigasaki.org/>

(アクション紹介ページ)  
Instagram  
@BAOBABSOOF\_CHIGASAKI

# こども・子育て応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

うむまえ、うむとき、うんだあと。

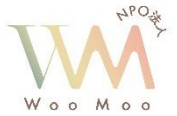
## <企業・団体名> NPO法人WooMoo

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人WooMoo（うーも）は、横浜市南区で『うむまえ、うむとき、うんだあと。』をモットーに産まれる前から産んだあとまでの子どもや保護者への伴走支援に取り組んでいる団体です。



#こどもまんなか  
やって見た



## どんなアクションをしているの？

運営母体である「みやした助産院」をベースに、横浜市認可小規模保育園、横浜市補助事業親と子のつどいの広場などを運営しています。どのステージにおいても自分らしく前向きな気持ちで子育てができるよう、お母さんたちと一緒に伴走しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

助産院を運営する中で、延べ7万人のお母さんと母乳ケアを通じて接してきました。お母さんたちが笑顔でいられるために「母親支援の大切さ」を大切にしたいという思いから、母乳育児を続けながらも預けることのできる小規模保育園を立ちあげたところから法人の活動がスタートしています。

## 子どもや保護者からの反応はどうか？

助産院で出産や産後ケアの時から関わることで、顔の見える関係が作られています。お母さん自身の悩みや家庭のことも安心して相談ができ、子どもが育っていく中で出てくる発達の悩みなども専門機関へ早期に繋ぐこともできました。地域のお母さんたちとのコミュニティを作ることができ、情報交換できるのもよい、との声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

産まれるところから継続して支援をすることで、出産後の子育て時期にも関わることができ、子育ての様々なステージにおいて必要な支援が自然と行われています。

特定妊婦支援事業や小学生の子ども居場所もそうですが、母体となる助産院と連携をして、継続して支援が必要な家庭への早期の関係づくりも行うことができます。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市南区三春台126

(ウェブサイト)

<https://www.npo-woomoo.com>

# 子ども・子育て応援

## <子どもまんなかアクションの名前>

離婚後の子育てアプリraeru/ラエル

raeru



<企業・団体名> GUGEN Software株式会社



## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

GUGEN Software株式会社は横浜市西区で、「ソフトウェアでアイデアを形にする（具現化する）」をビジョンにソフトウェアの受託開発、自社サービス開発を行っている企業です。

## どんなアクションをしているの？

父母の離婚や別居が子どもにハンデとならないよう、離れて暮らす父母のコミュニケーションをサポートし、子どもの健全な成長に欠かせない継続的な養育費の受給と親子交流の実現を支援するアプリを運営しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

シングルファーザーが離れて暮らす子どもとの親子交流の日程調整に非常に苦労していると耳にしました。ボランティア団体での活動を通じて、父母間のコミュニケーションがうまくいかず、親に会えなかったり、養育費を受け取れていない子どもが多くいることを知りました。子どもたちの未来のため、この事業が必要だと確信し、子育てを応援するアプリを開発しました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

アプリが父母のコミュニケーションを支援することで、子どもが親子交流を実現できるケースが多くあります。例えば、父母の不仲等を理由にお子さんや父母に会えないことに対して、ラエルを利用することで「コミュニケーションの負担が軽減された」という声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

離婚や別居後の父母が円滑にコミュニケーションを取れるよう支援することで、子どもたちが継続して両親と交流できる機会が増え、継続的な養育費の受給にもつながっています。父母のコミュニケーションをサポートすることで、子どもの利益にもつながる取組を行っています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区浅間町1-4-3-402

(ウェブサイト)  
<https://raeru.jp/>

# こども・子育て応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

小田急の子育てしやすい沿線づくり

<企業・団体名> 小田急電鉄株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

小田急電鉄株式会社は東京都新宿区と海老名市内に本社を有し、鉄道事業として新宿を起点に小田原・片瀬江ノ島・唐木田を結ぶ120.5km（全70駅）を運行するほか、商業施設・オフィスビル等の開発を行っている企業です。

思う 誰かを 今日



## どんなアクションをしているの？

小児IC運賃の低廉化や子育て応援車の導入、駅構内へのベビーケアルームの設置等、お子さま連れでの移動しやすい環境・沿線づくりを進めています。また、お子さま向けの沿線お出かけ情報や駅施設・サービスを紹介するサイト「FunFanおだきゅう」を運営しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

鉄道事業者だからこそできる少子化という社会課題への対応を、社内の有志と対話を重ね、子育てに関する価値観や違いを抽出し、2021年11月に「子育て応援ポリシー」として策定しました。このポリシーのもと、様々な子育て応援の取組を推進しています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

子育て応援ポリシー策定後、2022年3月から小児IC運賃を全線一律50円とする小児運賃低廉化施策を行いました。全国初の取組でもあり、「運賃が安くて助かる」「外出の際の選択肢が広がる」といったお声など、大きな反響がありました。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

「子育て応援ポリシー」を掲げたことで、ポリシーに賛同いただいた沿線の自治体・企業との連携も増えています。また、駅を中心として、地域の保育園や小学校のお子さまに小田急を身近に感じ、楽しんでもらえるようなイベントも数多く開催でき、地域との連携がより深まっています。



## <企業・団体情報>

(所在地)

東京都新宿区西新宿2-7-1

海老名市めぐみ町2-2(海老名本社)

(ウェブサイト)

<https://www.odakyu.jp/>

(アクション紹介ページ)

小田急の子育て応援ナビ

FunFanおだきゅう

<https://www.odakyu.jp/oyako/>

# 子ども・子育て応援

## <子どもまんなかアクションの名前>

お子さまと電車でのお出かけサポート

<企業・団体名> 京浜急行電鉄株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

京浜急行電鉄株式会社は横浜市西区に本社を有し、鉄道事業として東京の都心から、羽田空港・横浜・三浦・三崎口を結ぶ5つの路線を運行するほか、レジャー・サービス事業等を展開する企業です。



#子どもまんなか  
やってみた

KEIKYU  
京 急 電 鉄

## どんなアクションをしているの？

小児IC運賃を全区間75円均一（空港線は加算運賃25円）とするとともに、授乳室・ベビーカーレンタルスポットを駅構内に設置し、便利なサポートを進めています。また全駅改札での改札通過通知サービスを2025年春から開始します。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

子育て応援機運を高める「京急グループ子育て応援方針」を京急グループとして策定し、小児用ICカードを利用した場合、京急線の運賃が全区間均一で75円となる取組をスタート。将来を担うお子さまや子育て世代の負担軽減とお出かけを促進するために様々なサポートを実施し、魅力ある沿線開発に繋げています。

## 子どもや保護者からの反応はどうか？

お客さまからは「子どもと電車に乗りやすくなってありがたい」「お出かけの計画を京急沿線で立てています」といった嬉しいお声をいただいています。また、授乳室も、「電車利用する際に便利になってありがたい」といったお声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

小児ICカード運賃が均一化されてから、小児ICカードでのご利用者が増えています。また、授乳室やベビーカーなどの取組をメディアでご紹介いただくなど、注目されていると感じており、温めればそのまま食べられる夕食セットを販売する「子育て応援自動販売機」では売り切れも発生するなど、売れ行きも好調です。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区高島1-2-8

(ウェブサイト)  
<https://www.keikyu.co.jp/company/outline.html>

(アクション紹介ページ)  
<https://kids-keikyu.jp/>

# こども・子育て応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

東横線一部車両の車内ラッピング

<企業・団体名> 東急電鉄株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

東急電鉄株式会社は東京都渋谷区に本社を有し、鉄軌道事業として東京都西南部及び神奈川県東部において、東横線・東急新横浜線・田園都市線など計9路線を運営する企業です。



東急電鉄



## どんなアクションをしているの？

東横線の一部編成の5号車に、「東急線キャラクターのるるん」とキッズ向けYouTube「クマーバチャンネル」がコラボレーションした車内ラッピングを行っています。

\*2025年9月までの予定です。



©Kumarba Inc.

## アクションに取り組み始めたきっかけは？

お子さまに人気のある「のるるん」と「クマーバチャンネル」のキャラクターたちが楽しくお出かけしている車内ラッピングを実施することで、ベビーカー利用や小さなお子さま連れのお客さまの外出への心理的負担を軽減し、安心して気兼ねなく電車を利用できる環境づくりを行うこととなりました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

車内ラッピング車両の展開にあわせ、電車に乗ってお出かけする楽しさを訴求するべく、YouTubeで動画を公開したところ、視聴者から、「動画の世界観そのままに電車に乗れる環境があることは嬉しい」などとSNSを中心にコメントをいただいています。

【東急線キャラクター「のるるん」コラボ】お友達と大冒険 電車でお出かけしよう♪【でんしゃ・のりもの】

[https://youtu.be/StBCKZMT7-M?si=Ih2Om\\_IR2np9tNxa](https://youtu.be/StBCKZMT7-M?si=Ih2Om_IR2np9tNxa)

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

YouTube動画では、電車内でのマナーについても公開しており、延べ6万人の方にご覧いただいています。動画の視聴を通じて、電車内のマナーの向上や、外出促進による地域活性化にも繋がっていると感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
東京都渋谷区神泉町8-16

(ウェブサイト)  
<https://www.tokyu.co.jp/railway/>

(アクション紹介ページ)  
[https://www.tokyu.co.jp/information/list/Pid%3Dpost\\_54541.html](https://www.tokyu.co.jp/information/list/Pid%3Dpost_54541.html)

# 子ども・子育て応援

## <子どもまんなかアクションの名前>

東急線キッズパス

<企業・団体名> 東急電鉄株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

東急電鉄株式会社は東京都渋谷区に本社を有し、鉄軌道事業として東京都西南部及び神奈川県東部において、東横線・東急新横浜線・田園都市線など計9路線を運営する企業です。



#子どもまんなか  
やってみた

## どんなアクションをしているの？

小学生以下のお客さまを対象に、東急線全線が100円で1日乗り降り自由になったきっぷを土休日限定で販売しています。「お得に乗車できて嬉しい」などの声を子育て世代のお客さまからいただいています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

沿線内での移動の活性化を目的に、2022年夏に「東急線キッズ100円パス」を期間限定で販売し、多くのお客さまにご好評いただきました。

2024年3月からは、「東急線キッズパス」を土休日限定で、通年販売を開始し、より多くの子育て世代のお客さまにご利用いただけるようになりました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

子育て世代のお客さまから、「お得に乗車できて嬉しい」、「子どもが3人いるので嬉しい」、「東急線キッズ100円パスのおかげでちょっと遠くに出かけてみようと思える」などの声をいただきました。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

2022年夏の期間限定販売でのお客さまアンケートでは、約20%が「『東急線キッズ100円パス』をきっかけに鉄道を利用した」と回答したほか、途中下車が増え回遊性が増したことで地域の活性化に繋がっています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
東京都渋谷区神泉町8-16

(ウェブサイト)  
<https://www.tokyu.co.jp/railway/>

(アクション紹介ページ)  
[https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid%3Dpost\\_53501.html](https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid%3Dpost_53501.html)



# こども・子育て応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

横浜線車両優先席付近のフリースペース利活用

<企業・団体名> 東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

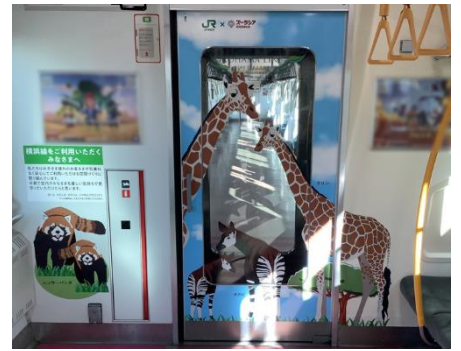


東日本旅客鉄道株式会社横浜支社は横浜市西区に所在し、主に神奈川エリア（一部静岡県エリアを含む）を中心に旅客鉄道事業や不動産事業等を運営する企業です。



## どんなアクションをしているの？

安全なベビーカー利用に関する理解促進やベビーカーマークの啓発、保育園等での出前授業を通じて、子育て世代がより安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。また、横浜線では車内のフリースペースに動物のラッピング装飾を実施しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

横浜線沿線の保育園等に出向き、子育て世代の方々と関わる中で、子育て世代のみなさまに、安心して楽しく鉄道をご利用いただきたいという思いから、よこはま動物園ズーラシアと連携し、動物をデザインしたラッピング装飾を横浜線（1編成の1号車と8号車）の車内で実施しました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

横浜線のラッピング装飾については、実際に乗車したお子さま連れのお客さまから「ラッピング車両に乗れると、子どもがとても楽しそうだった」といったお声をいただいています。小さなお子さま連れのお客さまを中心に、多くの方に知っていただき、ご利用いただけると嬉しいです。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

この取組を通して、ベビーカーでの利用についてお客様の理解やご協力が進み、車内のフリースペースの認知度が向上することを期待しています。

みなさまが安心して鉄道をご利用いただけるよう、引き続き、進めていきたいと思っています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区平沼1-40-26

(ウェブサイト)  
<https://www.jreast.co.jp/>

(アクション紹介ページ)  
<https://media.jreast.co.jp/articles/2506>

# こども・若者主体のアクション

## <こどもまんなかアクションの名前>

こどもデザイン体験

<企業・団体名> 株式会社Coanna



#こどもまんなか  
やって見た

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社Coannaは、横浜市西区で子どもの「その子らしさ」を見つける体験イベントを企画運営し、遊びや生活を通じた豊かな選択肢を提供する、子ども主体の世界観を大切にしている企業です。



## どんなアクションをしているの？

子どもたちのクリエイティブな芽を、Tシャツやバッグとして形にする特別な体験です。親子別室参加にすることで、はじめから最後まで楽しみながら、自分で考え、やりきる経験をすることができます。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

保育士として働いていた際に、子どもがやりたいことができたり、自分自身で考え解決することで、子ども自身が大きな力を発揮する姿を見てきました。しかしながら、自分が親になった時にはそういった経験を十分にさせてあげられないという葛藤を抱えました。子ども自身が考え、決定しカタチにする機会が少ないと感じたことから、起業し、現在取り組んでいます。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

参加した子どもが楽しそうに考える姿・真剣に取り組む姿が見られます。また、保護者からは、「子どものやることに、しない方がいいと思いながらも、子どもの行動に口出ししがち。部屋を完全に分けられたことで、いつも見ることのできない子どもの姿を見ることができた。」といった声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

保育士の経験からも、『孤育て』や『こどもの人権』などの社会的課題に対し、個々のケースや想いに寄り添いながらできるイベント運営をしており、「自分の子育て大丈夫」と思えるような意識や考え方の転換を実感していただいています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区平沼1-40-1 嶋森ビル8階

(ウェブサイト)  
<https://coanna.jp/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.instagram.com/coanna.me>

# 子ども・若者主体のアクション

## <子どもまんなかアクションの名前>

青葉おばけやしきプロジェクト



## <企業・団体名> NPO法人あおば学校支援ネットワーク



#子どもまんなか  
やってみたい

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人あおば学校支援ネットワークは、横浜市青葉区で青少年をはじめすべての市民に対して、学校や地域で多様な学びの機会をつくり、自分らしく生きることができる社会づくりを行う団体です。



## どんなアクションをしているの？

地域に『おばけやしき』をつくる世代間交流のあるまちづくりを行っています。企画・制作・運営を小学生以上の全世代で行う夏の居場所で、子どもたちは将来の自分を見るように一年一年成長を遂げています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

年長者と一緒に取り組める活動として、2009年から夏休みのおばけやしきづくりを始めました。小中学生の時に参加した子どもが、高校生・大学生の時には参加者の中心となって活動を牽引し、社会人になると子どもたちの自主的な活動を支える側に回るほど、一人ひとりの人生の中で長い時間を占める大きな取組となっています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

活動中の熱心さはもとより、自宅にいる時も小道具づくりやおばけ役の衣装、おどかし方を考えて熱中する子どもたちの様子が、度々保護者の方から伝えられます。はしゃいでいた小学生が中学生になった時に、小学生の安全を考慮する意見を述べるようになって成長を感じました。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

活動当初から、地域に開いた活動として地元の商店等へのチラシ掲示、寄付、制作のお手伝い、働く体験の場の提供など、多大な応援をいただきました。

活動を通して子どもと地域の大人のつながりが深まり、子どもがまんなかにいるまちづくりになっています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市青葉区奈良4-1-1  
B-106

(ウェブサイト)  
<https://aobaschoolsupport.net/>

(アクション紹介ページ)  
<https://aobaschoolsupport.net/oakeyashiki/>

# 体験型等こどもの育ち応援

<こどもまんなかアクションの名前>

あおばみんなの学校プロジェクト



<企業・団体名> NPO法人あおば学校支援ネットワーク



#こどもまんなか  
やってみたい

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人あおば学校支援ネットワークは、横浜市青葉区で青少年をはじめすべての市民に対して、学校や地域で多様な学びの機会をつくり、自分らしく生きることができる社会づくりを行う団体です。



どんなアクションをしているの？

キャンプ、実験、調理、まちづくりの取組など、年間を通して、様々なプロジェクトに小学生から大学生までの異学年のグループで協力して取り組んでいます。成功も失敗も経験できる場で、子どもたちは挑戦を重ね、自己肯定感を上げています。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

「青葉おばけやしきプロジェクト」でできたつながりを季節外でも実施できる活動として、キャンプ等の体験活動を通年で始めました。野外炊事やキャンプファイヤー、海や山の自然の中での活動など、非日常の取組が豊かな体験として、蓄積されています。

子どもや保護者からの反応はどうか？

あおばみんなの学校プロジェクトのキャンプで、年上のお兄さんお姉さんが活躍する様子を見て、数年後は自分もそうなりたいと目標にし、成長する様子は、うれしい出来事です。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

子どもはやりたいアイデアをたくさん持っています。大人は、そのアイデアを引き出すために、大人と子どもを分けて「共に生きる」という意識で関わり、場所を作ってあげることで、子どもたちは自主的に目標を見つけられます。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市青葉区奈良4-1-1  
B-106

(ウェブサイト)

<https://aobaschoolsupport.net/>

(アクション紹介ページ)

<https://aobaschoolsupport.net/minnanogp/>

# 体験型等こどもの育ち応援

<こどもまんなかアクションの名前>二酸化炭素排出量について学ぶSTEAM教育イベント

<企業・団体名>

三菱ケミカル株式会社 Science & Innovation Center



アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

三菱ケミカル株式会社 Science & Innovation Centerは、横浜市青葉区でプラスチック加工品などの素材に関する研究・開発を行っている企業です。



青葉台リビングラボ  
by MITSUBISHI CHEMICAL

どんなアクションをしているの？

循環型素材など、化学に関するSTEAM教育イベントを開催しています。例えば、植物由来原料を用いた合成紙「ユポ」を用いたワークショップでは、素材の持つ不思議な特性を子どもたち自らが観察し、考え、アートにして楽しく学びました。

※「ユポ」は株式会社ユポ・コーポレーションの登録商標です。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

2022年にリニューアルした青葉区の研究所では、地域との接点づくりとして「青葉台リビングラボ」の活動を行っています。当社の製品は企業向けのものがほとんどのため、これらの研究が「生活や社会課題に向いているものでありたい」という思いから、地域のNPO団体等と連携し、地域の子どもたちへ化学教室という関わりで取組を始めました。

子どもや保護者からの反応はありますか？

参加した子どもから、「環境に優しいことを楽しい工作をとおして学べた」「ユポの飾りが静電気で魔法のようにすぐ付いて楽しかった」といった声のほか、保護者の方からも「子どもたちが将来の仕事や社会にも興味を持てる内容だった」といった声をいただいています。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

参加した子どもや保護者からの評価も高く、当社としても手ごたえを感じています。

このほか、近隣の大学や地域のパートナーと連携し、子どもの未来を考える取組を続け、地域や社会の課題解決に向けて、地域活性化を図っていきたいと考えています。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市青葉区鴨志田町1000

(ウェブサイト)  
<https://www.mcgc.com/index.html>

(アクション紹介ページ)  
<https://spras-aobadai.net/news/2222/>

# 体験型等こどもの育ち応援

<こどもまんなかアクションの名前>

イベント開催

<企業・団体名> NPO法人HpRun



#こどもまんなか  
やって見た

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

NPO法人HpRunは、横浜市旭区でスポーツの振興や子どもの健全育成のため、ランニングやレクリエーション、環境の保全を図る活動を行う団体です。

ま

どんなアクションをしているの？

海の上を優雅に散歩する「SUP (Stand Up Paddle board)」を楽しむ、「SUP (STAND UP PADDLE)」というイベントを開催し、海に触れる体験と身体を動かす取組を行っています。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

法人としての活動を通じ、近年、子どもの身体活動量の低下と自然との距離が開いているということに社会的課題があると考え、イベントの開催を通じてこうした課題に解決できると感じ取り組み始めました。

子どもや保護者からの反応はどうか？

参加した子どもからは、普段は体験できない運動を楽しむ様子が見られ、保護者からは、「自分で実施することは難しい取組に参加できたことで、貴重な自然体験になった」「子どもが主体の取組でありながらも保護者も参加して親子で自然に触れることができた」といったお声をいただきました。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

イベントに参加することで、楽しく体を動かし、子どもの身体活動量が増加したと感じています。SUPイベントのほか、ランニングやレクリエーションの場を通じて、子どもの抱える社会課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市旭区金が谷1-6-7-4

(ウェブサイト)

<https://sites.google.com/view/hp-run>

# 体験型等こどもの育ち応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

小中高生向け工場見学と出張講座

<企業・団体名> 株式会社Jバイオフーズリサイクル



#こどもまんなか  
やってみたい

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社Jバイオフーズリサイクルは、横浜市鶴見区で食品リサイクル・発電事業を行う企業です。スーパーやレストラン等で発生した食品ごみを微生物の力（メタン発酵）でリサイクルし、電気と肥料を生み出しています。



JBio FOOD RECYCLE

## どんなアクションをしているの？

食品リサイクルの事業内容や処理の仕組みを学ぶ機会として、小中高生向け工場見学の実施や展示会への参加をしています。また、肥料の提供先農家と連携し、メタン発酵の実験や農業への活用法を紹介する出張講座も実施しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向け、近隣中学校の工場見学の受入を開始したことがきっかけです。資源の有効活用やCO2排出量削減の取組を紹介する社会科見学を実施するほか、食品ロス防止意識やメタン発酵の仕組みを学ぶ理科実験をテーマに、外部団体と連携し小学校低学年から中学生までを対象にしたSTEAM教育も実施しています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

食品ロスやリサイクルに興味を持つ子どもが増え、様々な意見や質問をいただいています。「リサイクルはエコだけど、ごみを出さないことが大切。食べ残しをなくすなど自分にできることをしたい」等、身近な改善策に繋がる声もいただきました。食品ごみを目にする事で“もったいない”という気持ちが芽生え、食品の大切さについても学べる機会になっています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

子どもを対象にした見学会や出張講座への取組をきっかけに、子ども向けの見学資料や環境教育用の冊子を作成しました。リサイクルの仕組みだけでなく、地球環境問題と廃棄物・資源循環の関係を学べるように内容の見直しも行い、より幅広い層への発信を目指した教育資料の更新やワークショップ等の充実化が進んでいます。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市鶴見区弁天町3-1

(ウェブサイト)  
<https://www.j-bio.co.jp/>

# 体験型等子どもの育ち応援

<子どもまんなかアクションの名前>

スマイルパス

<企業・団体名> 株式会社横浜エクセレンス

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社横浜エクセレンスは、横浜市中区を拠点にプロバスケットボールチームの運営を行う企業です。



どんなアクションをしているの？

横浜市内の小中学生・未就学児のお子さんを対象に、横浜エクセレンスのホームゲーム全試合を無料で観戦できるシーズンパス「スマイルパス」を発行する取組です。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

地域でもっとも愛され、応援される存在を目指し、ホームタウンである横浜市を中心とした地域連携活動を、多岐に渡り実施しています。クラブ理念である「スポーツを通じてたくさんの人を笑顔に」し、より良い未来に貢献するため、横浜エクセレンスを中心としたコミュニティ形成をしていきたいという思いから、これらの取組が始まりました。

子どもや保護者からの反応はどうか？

バスケットボールの試合を観ることの楽しさや、迫力を非常に魅力に感じているお子さんが多いです。また、試合だけでなく、地域連携活動についても知ってもらうことができ、「地元愛に溢れ、親しみやすさが感じられる」といった、お声を多くいただいています。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

ホームアリーナ（横浜武道館）のある中区を拠点に活動していますが、外国につながる子どもが多く在住しているエリアです。我々のような外国籍の選手を抱えるプロスポーツクラブを通じて、国籍・年齢・性別・障がいの有無に関係なく、「スポーツをする喜びや楽しみ」「助け合いや感動体験」を提供できていると感じています。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市中区真砂町2-25 関内中央ビル4階 K402

(ウェブサイト)  
<https://yokohama-ex.jp>

(アクション紹介ページ)  
<https://yokohama-ex.jp/news/detail/id=20972>



# 体験型等子どもの育ち応援

## <子どもまんなかアクションの名前>

EX Community Project

<企業・団体名> 株式会社横浜エクセレンス

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社横浜エクセレンスは、横浜市中区を拠点にプロバスケットボールチームの運営を行う企業です。



#子どもまんなか  
やってみた



## どんなアクションをしているの？

ホームタウンである横浜市を中心とした地域連携活動を年間で120回以上\*実施しています。

「スポーツをする・みる・ささえる」を軸に、バスケットボールの普及や、健康増進・教育・地域振興を目的とした活動です。

\*2023-24シーズン実績



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

地域でもっとも愛され、応援される存在を目指し、ホームタウンである横浜市を中心とした地域連携活動を、多岐に渡り実施しています。クラブ理念である「スポーツを通じてたくさんの人を笑顔に」し、より良い未来に貢献するため、横浜エクセレンスを中心としたコミュニティ形成をしていきたいという思いから、これらの取組が始まりました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

「選手と交流しながらバスケットボールの練習ができたのでとても良かった」「選手が2つのボールでドリブルをしていたのがすごい」など普段できない経験ができているほか、職業体験では、「選手に会える嬉しさ、事務所のスタッフの皆さんの楽しい雰囲気によって、人とコミュニケーションをとる大切さが学べた」等の声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

プロバスケットボール選手や専属チアリーダーズと触れ合うことで、スポーツへの興味や夢を抱くきっかけづくりにつながり、結果的にクラブへの応援につながっています。地域の方とクラブとつながることで「自分らしく暮らしていける地域社会、住み続けたい」と思えるきっかけをつくり、地域社会との一体感を醸成できていると感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市中区真砂町2-25 関内中央ビル4階 K402

(ウェブサイト)  
<https://yokohama-ex.jp>

(アクション紹介ページ)  
[https://yokohama-ex.jp/news/contents\\_type=77](https://yokohama-ex.jp/news/contents_type=77)

# 体験型等子どもの育ち応援

<子どもまんなかアクションの名前>

スマイルアンバサダー

<企業・団体名> 株式会社横浜エクセレンス

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

株式会社横浜エクセレンスは、横浜市中区を拠点にプロバスケットボールチームの運営を行う企業です。



どんなアクションをしているの？

20の国や地域につながる子どもたちが学んでいる横浜市立南吉田小学校5年生による「2024-25シーズン横浜エクセレンススマイルアンバサダー」の活動。総合的な学習時間の一環として、ともに地域を盛り上げるべく、多様性を尊重する様々な活動を行っています。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

地域でもっとも愛され、応援される存在を目指し、ホームタウンである横浜市を中心とした地域連携活動を、多岐に渡り実施しています。クラブ理念である「スポーツを通じてたくさんの人を笑顔に」し、より良い未来に貢献するため、横浜エクセレンスを中心としたコミュニティ形成をしていきたいという思いから、これらの取組が始まりました。

子どもや保護者からの反応はどうか？

「一緒に活動を行うことで、いろんな視点で考えることができるようになり、ほかの活動にも生かすことができた」「地域の人と住んでいる地域を盛り上げる活動ができて楽しい」といったお子さんからの感想をいただくほか、「社会の一員として参画することができて、子どもの自信に繋がっている」といった保護者からの声をいただいています。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

横浜エクセレンスを通じて、子どもたちが社会的な体験をしてもらうことで、地域貢献をしたい企業とのつながりを増やし、より多角的に子どもたちの社会体験の創出ができています。子どもたちと一緒に「地域を盛り上げたい」というビジョン共有を行うことができています。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市中区真砂町2-25 関内中央ビル4階 K402

(ウェブサイト)  
<https://yokohama-ex.jp>

(アクション紹介ページ)  
<https://yokohama-ex.jp/news/detail/id=21661>

# 体験型等こどもの育ち応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

フィード・ワン食育講習会

<企業・団体名> フィード・ワン株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

フィード・ワン株式会社は、横浜市西区で牛や豚などの配合飼料の製造・販売、畜水産物の仕入・販売・生産・加工等を行う企業です。



## どんなアクションをしているの？

配合飼料メーカーならではの視点で、中高校生を対象とした食育講習会を行っています。家畜や養殖魚がどのように育てられ食卓へ届くのか、畜水産物の生産過程について解説し、調理実習を通して食材の栄養や食べ方を学んでいます。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

毎日食べる肉や魚を生産するために飼料は欠かせないものですが、なかなか飼料について知ってもらう機会がないことが当社の課題のひとつとなっていました。そこで、当社の飼料で育てた畜水産物を食材として使うことで、より飼料を身近に感じてもらえるのではないかとこの思いから「食育講習会」を実施することとなりました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

食育講習会を受けていただいた生徒からは、配合飼料はもちろんのこと、畜水産業界についても「初めて知ったことばかりだった」というお声や、食材の特徴や選び方などを「普段の生活に役立てていきたい」とのお声をいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

畜水産業界に興味を持ってもらったり、配合飼料メーカーならではの視点で畜水産物の生産過程や食材の栄養についてお伝えすることで、健康で楽しい食生活を送る一助となっていると感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区みなとみらい5-1-2

(ウェブサイト)  
<https://www.feed-one.co.jp/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.feed-one.co.jp/csr/social/community.html>

# 体験型等こどもの育ち応援

## <こどもまんなかアクションの名前>

フィード・ワンこども参観日

<企業・団体名> フィード・ワン株式会社

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

フィード・ワン株式会社は、横浜市西区で牛や豚などの配合飼料の製造・販売、畜水産物の仕入・販売・生産・加工等を行う企業です。



## どんなアクションをしているの？

「こども参観日」は、従業員の子ども達を職場に招き、1日社員として当社事業について学ぶとともに、オフィス見学や名刺交換体験などを行うイベントです。子ども達が親の仕事への理解を深め、「働くこと」について考えるきっかけになっています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

当初は従業員のワークライフバランスの推進を目的に、家庭と企業の接点を創出し、子どもが親の仕事への理解を深めることで、従業員のエンゲージメント向上につながることを期待して開始しました。アクションに取り組む中で、職場で従業員同士の家族の顔を見る機会ができ、働きやすい職場づくりの一助となっています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

子どもは親の働く職場に出向く機会が少ないため、多くの大人が働いている現場に来ることや、1日社員としてタイムカードを押して入室すること、名刺交換の体験等は特に楽しんでくれています。保護者である従業員からは、自分の仕事に興味を持ってくれたなど、家庭内でのコミュニケーションの活性化にも繋がっている実感があるようです。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

こども参観日では、同僚の子どもと接したり、同僚が子どもに接する「家庭の顔」を垣間見たりすることがあります。仕事以外での顔を見ることにより、従業員同士の理解が深まり、サポートし合う関係が強化される効果も出てきたと感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区みなとみらい5-1-2

(ウェブサイト)  
<https://www.feed-one.co.jp/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.feed-one.co.jp/csr/social/open-day.html>

～かながわ子どもまんなかアクション事例～

子ども  
まんなか

# 体験型等子どもの育ち応援

## <子どもまんなかアクションの名前>

出前授業を通じ子どもたちのよりよい生活への貢献

<企業・団体名> 味の素株式会社 川崎事業所

## アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

味の素株式会社は、東京都中央区に本社を有し、川崎市川崎区で世界一のアミノ酸メーカーとして、国内外で「食品事業」、「アミノサイエンス事業」を柱とした幅広い事業を展開している企業です。

Eat Well, Live Well.

Ajinomoto  
AJINOMOTO



## どんなアクションをしているの？

次世代を担う子どもたちの「食」と「健康」、そして明日のよりよい生活に貢献を目指し、県主催の「かながわサイエンスサマー」での味覚教室や働くことやSDGsについて学ぶ出前授業を川崎区や地域の企業等と連携して実施しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

2005年7月に食育基本法が制定されたことに伴い、『おいしく食べて健康づくり』という創業の志を未来につなげるために、当社は、おいしく栄養バランスよく食べることの大切さを、大人になってからではなく、できるだけ早い段階で伝えていきたいという思いから出前授業をはじめました。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

学校への出前授業を通じて、子どもからは、「5種類の味があることを知った。栄養があっておいしいものを食べて健康な体を作りたい。」といった声があったほか、先生からも子どもたちは好き嫌いが多く、栄養バランスよく食事をとることが難しいため、授業があってよかったといった喜びの声もいただいています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

出前授業の実施を通じて、授業でふれあう年代以外の幅広い世代の消費者の声に触れることで、講師である従業員の業務棚卸や当事者意識の醸成により、働きがいの向上に繋がっていると感じています。



## <企業・団体情報>

(所在地)  
川崎市川崎区鈴木町1-1

(ウェブサイト)

<https://www.ajinomoto.co.jp/>

# 体験型等子どもの育ち応援

<子どもまんなかアクションの名前>

相鉄線沿線「学びクラブ」



<企業・団体名> 相鉄グループ



アクションに取り組むのはこんな企業・団体です

相鉄グループは横浜市西区に本社を置き、鉄道事業として横浜を起点に海老名・湘南台・新横浜を結び、都会へのアクセスの良さと緑豊かな沿線を有するほか、流通業・不動産業・ホテル業等を展開する企業です。



どんなアクションをしているの？

相鉄線沿線の「住みたいなる街」に子どもたちをご案内することを目的に、人と自然という資源を活用した、生き物観察や星空観察等の体験学習型イベントを定期的で開催しています。



アクションに取り組み始めたきっかけは？

もともと沿線の商業施設へファミリー層に足を運んでもらうために実施していましたが、継続して実施する中でファンが生まれ、より発展した「住みたいまち、住み続けたいまち、未来のまちづくり」を実現するための、地域をつくる取組へとシフトしていきました。

子どもや保護者からの反応はどうか？

沿線の文化や自然に触れられる体験であり、身近な自然を改めて発見でき楽しかったという声、学びにつながり良かったという声を子どもからも保護者からもいただいています。リピーターもおり、参加者の満足度の高い取組となっています。

アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

沿線に住んでいる人も、住んでいない人も沿線の魅力を発見できる機会になっています。まだ途上ではありますが、次世代を担う子どもたちを地域で育み、成長した後も地域に愛着と誇りを持てるような「まち」となるよう、チャレンジしています。



<企業・団体情報>

(所在地)  
横浜市西区北幸2-9-14

(ウェブサイト)  
<https://www.sotetsu.co.jp/>

(アクション紹介ページ)  
<https://www.sotetsu-bm-areamanagement.com/>

# 共働き・共育て

## <こどもまんなかアクションの名前>

仕事と育児の両立支援ハンドブック

<企業・団体名> 三菱ケミカル株式会社

アクションに取り組むのはこんな企業・団体です



#こどもまんなか  
やってみた

三菱ケミカル株式会社は化学品の製造・販売を行っている企業です。東京都千代田区に本社を置き、横浜市青葉区にあるScience & Innovation Centerで研究・開発を行っています。また、県内には横浜市鶴見区、平塚市にも事業所があります。



## どんなアクションをしているの？

従業員の育児参加を推奨し、男女ともに仕事と育児を両立できるよう社内制度を整えています。特に、育児参画の必要性、育児との両立に関する基礎知識や心構え、具体的なアクションについて理解を深めてもらうことを目的にハンドブックを発行しています。



## アクションに取り組み始めたきっかけは？

育児をしながら働く従業員を長期的視点で支援し、両立しやすい環境を整える取組の一環として、2008年6月から本ハンドブックの発行を進めました。都度、内容を最新のものにアップデートしており、出産する従業員だけではなく、子どもが生まれる予定の男性従業員に必要な情報も提供しています。

## 子どもや保護者からの反応はありますか？

従業員向けのポータルサイトに「育児との両立支援」の情報を集約したページを設けており、ハンドブックを含めたポータルサイトの情報が役に立ったとの声が寄せられています。

## アクションに取り組むことでの効果はありましたか？

男性が育児に参加しやすい環境を充実させるため、休暇制度の変更とともに子どもが生まれる予定の男性従業員と上司と一緒に閲覧できる啓発動画や、本ハンドブックの公開を通じ、男性の育児休職取得促進の風土醸成を行っています。近年、男性の育児休職取得率が向上しており、これらの取組が一助となったと考えています。



### <企業・団体情報>

(所在地)

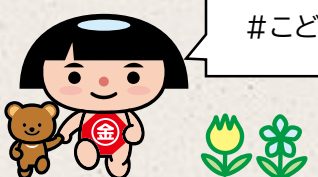
東京都千代田区丸の内1-1-1  
横浜市青葉区鴨志田町1000  
Science & Innovation Center

(ウェブサイト)

<https://www.mcgc.com/index.html>

(アクション紹介ページ)

<https://www.mcgc.com/sustainability/mcc/stakeholder/employees.html>



#こどもまんなかやってみた

2025年1月発行  
神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部  
次世代育成課 企画グループ  
電話番号:045-210-4690(直通)